

子どもと家庭の応援団

メンバー数：39名 活動場所：伊勢市、鈴鹿市
 実施主体：灰谷ゼミ
 担当教員：灰谷 和代（現代日本社会学部）
 活動年度：H30, R1

- ・活動内容の総括
- ・「まなびーの」冬休みイベント(クリスマス会)の開催
- ・「まなびーの」冬休みイベント(クリスマス会)の企画、準備
- ・「まなびーの」夏休みイベント(夏祭り)の開催
- ・「まなびーの」夏休みイベント(夏祭り)の企画、準備
- ・保育ソーシャルワーク学会、学生企画
リハール等
保育ソーシャルワーク学会(学生企画
にて活動内容発表)
- ・保育ソーシャルワーク学会(学生企画)準備開始
- ・「プラス」毎週木曜日学習支援開始
「まなびーの」隔週土曜日学習支援開始

2019 4 5 7 8 9 11 12 2

保育ソーシャルワーク学会 (9月14日、15日)

- ・2019年9月14日、15日にて皇学館大学にて保育ソーシャルワーク学会第6回研究みえ大会が行われました。全国から子どもの貧困に対する支援、子ども食堂、児童養護施設等行っている方々が集まり、学生達も実行委員として参加をしました。
- ・14日の午前には、学生企画にて活動内容を発表しました。
- ・伊勢の中日新聞に学生企画を取り上げて頂き、ZTV「いせトピ」にて放送して頂きました。

鈴鹿市ひとり親家庭学習支援「まなびーの」夏休み・冬休みイベント企画 (鈴鹿市母子寡婦福祉会)

- ・学習支援「まなびーの」に参加している小・中学生を対象に、8月は、夏休みイベント(夏祭り)、12月は、冬休みイベント(クリスマス会)を企画・実践しました。
- ・8月は、スーパーボールすくい、ヨーヨー釣り、音楽体験等、12月にはクリスマスケーキ作り、オーナメント・クリスマスリース作り、マジックショー等を企画・実践しました。12月には学生スタッフがサンタクロースになり、プレゼントを渡しました。
- ・イベント当日にむけて当日参加できる学生と当日参加できない学生に分かれ、イベント当日に使う道具等の準備をしました。イベント実行に向けて、学部学科を問わず、各学生の得意な点を活かして取り組むことができました。
- ・すでに、来年度の「まなびーの」でのイベント企画の依頼を受けています。「まなびーの」に参加している小中学生だけでなく、もっと小さな子どもたちも参加できるようなイベントの企画を希望されているので、新しい遊び等を取り込んでいきたいと思えます。
- ・いつも、企画や準備に入るのに時間がかかってしまうので、次回からは早く進めたいです。



伊勢市子どもの学習支援事業「プラス」

(伊勢市社会福祉協議会 伊勢市生活サポートセンターあゆみ)

- ・2018年11月～毎週木曜日に小学生・中学生の学習サポーターとして活動しています。
- ・来年度は、普段の支援に加えてイベントの企画等、更に活動の幅を広げて実践していく予定です。